

【福島応援人形劇公演 Part3】

- 1) 日程 平成30年1月18日(木)～19日(金)
- 2) 場所 福島市の保育園1カ所で人形劇公演を実施。
- 3) 参加劇団 人形劇団野良犬+Plus(3名)、櫻川千代公(1名)
- 4) 公演記録

人形劇団野良犬+Plus&おかピー

月/日(曜)	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
1/19(金)	15:15	敬香保育園 福島市腰浜町9-1	マジック 「矢吹さんのいきなりマジックショー」 江戸芸かっぽれ 「かっぽれ」「桃太郎」 パネルシアター 「ひよこちゃんのマジック」 背負子人形劇 「おむすびころりん」	121名 (子103、 大人18)

5) 写真で見る公演及び調査記録

人形劇団野良犬+Plus&おかピー

①敬香保育園



- 人形劇やパネルシアターのほか、日本の伝統芸能「江戸芸かっぽれ」を上演。子どもたちも一緒に元気に踊って楽しい時間となった。
- 公演終了後、子どもたちが「三匹のくま」の人形劇を観せてくれた。前回、保育園を訪れた際に上演したこの演目を観た子どもたちが、歌をマネして歌ったり、自分たちで人形をつくって遊んでくれていたらしく今回また札幌から人形劇団がくるのにあわせて練習をしてきていた。とても上手にできており子どもたちの心に残る人形劇を届けることができたことを嬉しく思う。
- 札幌のボランティアのお母さんたちが作ってくれたハンドパペットでもたくさん遊んでくれていた。今回も預かったハンドパペットを手渡すと、先生も子どもたちも喜んでくれていた。



【人形浄瑠璃体験ワークショップ】

- 1) 日程 平成30年1月20日(土)～22日(月)
- 2) 場所 長期ワークショップ(全7回):福島市子どもの夢を育む施設こむこむ、日和田公民館
- 3) 参加劇団 八王子車人形西川古柳座(1名)、さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座(5名)
- 4) 実施記録

①人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
1/20(土)	10:00	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ 福島市早稲町1番1号	『ふれアート』inふくしま 4回目	10名 (子10)
1/21(日)	10:00		『ふれアート』inふくしま 5回目	10名 (子10)

②復活!高倉人形プロジェクト・人形浄瑠璃ワークショップ

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
1/21(日)	16:30	日和田公民館 郡山市日和田町字小堰23-4	こども対象 4回目 三人遣いワークショップ	21名 (子21)
	19:00		おとな対象 4回目 三人遣いワークショップ	17名 (子2、 大人15)
1/22(月)	16:30		こども対象 5回目 三人遣いワークショップ	21名 (子21)
	19:00		おとな対象 5回目 三人遣いワークショップ	17名 (子2、 大人15)

5) 写真で見る公演及び調査記録

人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』inふくしま

①1/20(土)<4回目>・21(日)<5回目>



- 部活などで続けられなくなってしまった子どもたちもいて残念であったが、新たに興味を持ってくれた子が新規加入し賑やかな活動を行っている。学校が異なる子どもたちも次第に慣れてきて、休憩時間なども一緒に過ごす様子がみられ子どもたちの交流の場としても良い雰囲気になっている。
- 発表会に向けて配役も決めて稽古を行ったが、昨年から継続して参加している子どもたちが堂々と人形を遣う様子に周りの子どもたちも引っ張られ、順調に稽古が進んでいる。
- 発表会で元気に活動をする子どもたちの姿をたくさんの方に観ていただけるようスタッフも全力で取り組んでいる。

復活！高倉人形プロジェクト・人形浄瑠璃ワークショップ

①1/21（日）＜4回目＞・22（月）＜5回目＞



- 今開催の一週前に、日和田公民館のワークショップに参加する子どもたち18名が札幌に訪れ、札幌で活動をする子どもたちと一緒に人形浄瑠璃を通じた交流ワークショップを行った。それが良い刺激になり、子どもたちも発表に向けての意識が高まったように思う。
- 発表会の配役が決定し、演目ごとにグループに分かれて集中的な稽古を行った。途中、稽古の成果をみるために演目ごとに順番に演じ、互いの姿を確認しあった。客観的に見ることで自分たちの成長が感じられるのではないかと思います。
- 大人の部でも、発表会の演目の稽古を行った。今年度は、「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」の一部と、人形の基本的な操作方法「型」を発表することとなり、真剣に稽古に取り組んでいた。人形を遣うことだけではなくそれぞれ得意な分野を持ち寄って、高倉人形の復活のために意欲を燃やしている。まだ始まったばかりの取り組みであるが、息の長い活動になるよう継続の仕方を模索していきたい。